

SDGsゴール5

5 ジェンダー平等を実現しよう



特集

wing編集委員によるアンケート調査

中高生が考える

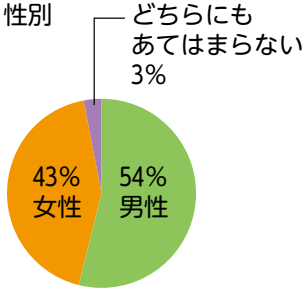
ジェンダー平等ってなんだろう

「ジェンダー平等」とは性別に関わらず、平等に責任や権利や機会を分かち合い、あらゆる物事を一緒に決めていくことを意味しています。今回、「ジェンダー平等」に関する意識や考え方等について、市内のとある中学校の2年生、高校の2年生を対象にアンケートを実施しました。

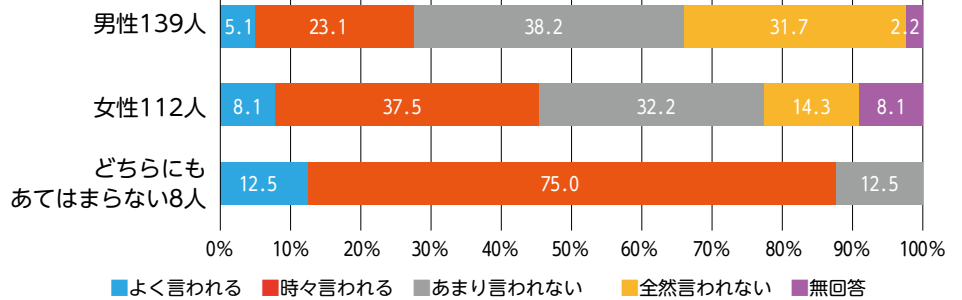


問1 性別

n=259



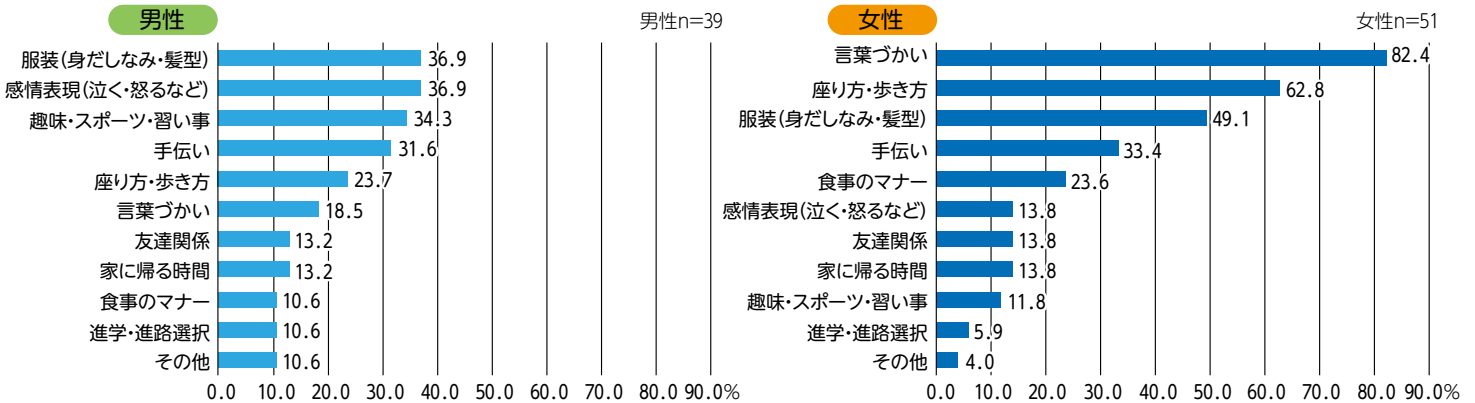
問2 「男らしさ・女らしさ」などを言われる頻度



編集委員

「男らしさ・女らしさ」は、男性よりも女性、さらにどちらにも当てはまらない方々がより多く言われています。言われる頻度もさることながら、指摘がジェンダーによる決めつけだと気づくかどうかにも関係してくるのではないのでしょうか。どちらにも当てはまらない方々は性別やジェンダーについて考える機会が多いからこそ、投げかけられる言動が男らしさや女らしさに基づくものだと気づくため「よく言われる」「時々言われる」割合が多いのではないかと考えられます。

問3 「男らしさ・女らしさ」などを言われた内容（複数回答）

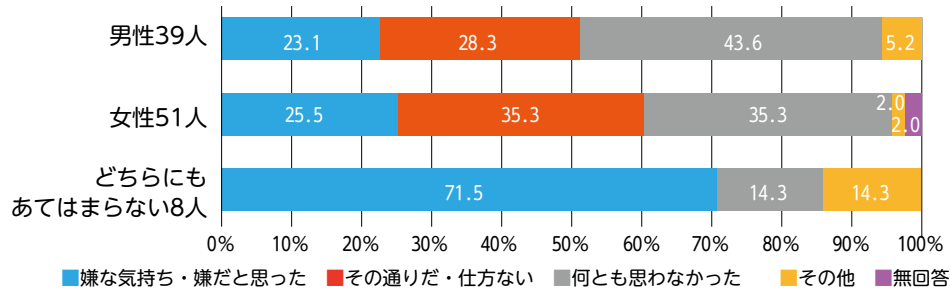


男性は「感情表現」という内面的なところに男らしさを、女性は「言葉づかい」「座り方・歩き方」という外面的なところに女らしさを求められていることが伺えます。「服装」は男性、女性、どちらにも当てはまらない方々すべてにおいてポイントが高い結果となりました。服装は見た目でわかるものだからこそ指摘されやすいのではないかと考えられます。



編集委員

問4 「男・女だから〇〇しなさい」と言われた時の気持ち

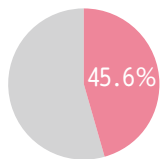


編集委員

「何とも思わなかった」のなかには、仕方ないという諦めの気持ちや気にしない程度のこと、あまり意識したことがなく、深く考えたことがないという認識もあるのかもしれませんが。男らしさ・女らしさに当てはめられることを肯定することは、あらゆる選択肢を限定してしまうことにつながるのではないのでしょうか。

問5 「学校」「家庭」「社会」のジェンダー平等について「男性・女性の方が優遇されていると思う」場面の主な意見（自由記述）

学校の中で平等である
と考える人の割合



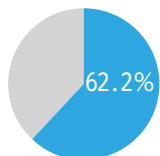
「学校の中」

- ・まずは「男子から」と言われる。
- ・女子が男子任せにしている。
- ・女子の意見を聞かない。

リーダーシップは男性がとるもの、という固定観念があると考えられます。リーダーシップをとる女性のロールモデルが増えていけばいいですね。

編集委員

家庭の中で平等である
と考える人の割合



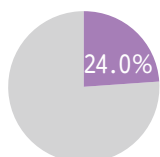
「家庭の中」

- ・家事は女性がやることが多い。
- ・男だから「仕事優先」と家で仕事ばかりする。

「学校」「社会」に比べ「平等」の割合が高い結果となりましたが、家事は女性、仕事は男性という「固定的性別役割分担」についての指摘が多くありました。

編集委員

社会の中で平等である
と考える人の割合



「社会の中」

- ・男性のほうが給料が高かったり、昇進しやすかったりする。
- ・会社の偉い立場の人は大体が男性、議員などもほぼ男性。
- ・性被害者は女性に多い。

国税庁の「令和2年分民間給与実態統計調査」によると男女の平均年収の差は239万円（男性は532万円、女性は293万円）。女性の国会議員（衆議院議員）の割合は9.7%です。
性被害者は女性が圧倒的に多いですが、一方で男性の被害者もいます。

編集委員

- ・女性限定スイーツ食べ放題がある。

スイーツが好きな男性もいれば、スイーツが苦手な女性もいますよね。

編集委員

- ・電車で女性専用車両がある。
- ・レディースデーがあるので女性が優遇されていると思う。

女性の専用車両は、女性に対する痴漢行為が多いこと、レディースデーは男女の賃金格差（女性の賃金の低さ）が背景にあると考えられます。

編集委員

問6 ジェンダー平等を実現するにはどうしたらよいと思いますか？

生徒のみなさんの意見

- ・お互いに協力しあうことが大切だと思う。
- ・一人一人の意見を尊重する心をもつ。
- ・自分たちの優遇されているところと不遇なところを考えてみて、相手の言葉を聞きながら話し合って待遇を平等にしていくことが重要だと思う。
- ・ジェンダー平等に向けての小さな取り組みを行い、ジェンダー平等がどのようなことか体験すると良いと思う。
- ・小さな頃からジェンダーについて学び、平等であることが普通になるようにする。そうすれば、根付いた固定観念を取り除ける可能性がある。



編集委員の感想

アンケートに協力してくださった学校・生徒のみなさん、ありがとうございました。

- ・みなさんは、このアンケートについていろいろな事を考えたのではないのでしょうか？ジェンダー平等について、体験や話し合いの大切さに気づき、自分の周りから実践していくなどの意見がたくさんあり、とても頼もしいと思いました。
- ・みなさんが生きる社会では自由な選択が可能となり、そして性差で諦めることなくすべてを手にいれて欲しいです。
- ・アンケートを読み、私も無意識のうちに「女性だから……」と行動を制限したり、相手に委ねてしまうことがあると思いました。根深い課題を次世代に引き継がせないように、まずは私たち大人が意識していきたいですね。
- ・私たち大人が出来ることは、子どもたちの少しでも早い成長段階において、固定観念がもたらす偏見や差別に気づく視点と、多様な角度から物事をとらえ判断する力が育つよう、そして、これらを行動に移すことが出来るよう導いていくことではないでしょうか。
- ・ジェンダー平等問題は、人種差別等の偏見にも通じ、人権尊重の問題であると思います。多様な価値を認め合い、誰もが生きやすい社会を生徒のみなさんの若い力と一緒に、諦めずに、築いていきたいです。